

中和田教会だより

死者の霊を慰める

主任司祭 宮下神父

八月十五日は神の母であり私たちが信者の母であるマリア様が聖肉共天国に移された記念の日であります。マリア様の被昇天を想うて心からおめでどうございませうと申上げ、何卒私達も天国へつれて行って下さいとお願ひ致しませう。此の日に主任司祭は信者の皆さんのため、七くなられた方々のため、又地域に住むおすべての人々のためにミサを捧げます。尚八月十五日は月おくれのお盆に当ります。日本人は昔からの習慣として先祖をばじめ七くなられた近親者の霊を慰める時期として居ります。カトリック教会の死者の月は十一月ですが信者は日本人の習慣として行われる春秋のお彼岸とお盆に先祖や七くなられた人々を思い出し、て聖をなぐさめるために、つとめることは大変良いことと思ひます。信者の中には佛教や其の他の宗教でお葬式をした者のためにカトリックの祈りや

昭和五十六年七月二十二日
戸塚区中田町二七〇
中和田教会広報委員発行

ミサは無用であると考えて居る者があり、また、こればかりです。すべの人間は神様から創られ、神様の支配によつて定められたようになり、古く日本彫刻展の為に佛像のお伴をしてソビエトへ行った奈良の坊さんはモスコウから七千キロ離れたコサルクスと云う町にあるロシア正教会の総本山である教会の大僧正に会い、戦争のためソビエトへ連れて行かれ、あちらで七くなられた七何千の同胞のために、いつて永代養料を納めて死者の冥福の祈りをお願ひして来たと言ふにあたり、その話があります。練獄を信じて死者の養育を大切にする信者としてお盆にはロリアや愛徳の実行、ミサ等をささげて死者のためにつくしませう。

教皇ヨハネパウロ二世とマザーテレザ

宮崎 晋

今年一九八二年は二月に教皇ヨハネパウロ二世を、また四月にはマザーテレザを迎えて日本史上画期的な年となりました。

この表は八月三十日にメダリ、高崎カトリック教会、スタニ神父様にお送りいたします。

社事会報告

七月五日、且由名の参加者により七月度委員会が開かれた。先ず、末原委員長より中和田教会の財政状況について説明があり、信徒全員の協力により独立財政の第一歩を踏み出すことが出来るようになった。報告と又これに伴い、資金問題で教会の新規オルカン購入について話し合が行われた。購入の主旨については全賛賛同が得られ、細部検討については委員会に一任し、最善の購入をおねがいするとう運びになった。

また、社事会の活動について、会のありさま、本来の姿、真の社事会の活動と云うものについて意見が交され、社事会の各信者が会社や実社会での生活において、教会の先兵として活動する心構えと云うものが必要ではないか、活動と共に外に何れ何れに親睦行動と云うものも一度感んば、話し合つてみることも意義あるのではなからうか、と云う前向きな意見交換がなされた。

今年もまた九月八日、マリアの誕生日にロザリオの花束を世界中で捧げる行事が行われます。八月十五日(マリアの被昇天)から九月八日(マリアの誕生)まで二十五日間の内に、自由にロザリオ一環以上を捧げませう。参加くださるお名前と環数予定をご記入下さい。

マリアさまのプレゼント

今年もまた九月八日、マリアの誕生日にロザリオの花束を世界中で捧げる行事が行われます。八月十五日(マリアの被昇天)から九月八日(マリアの誕生)まで二十五日間の内に、自由にロザリオ一環以上を捧げませう。参加くださるお名前と環数予定をご記入下さい。

このお二人が残された教皇は実に教皇の日本観に深く感動したので、そのことを書き記してみたい。

オニに教皇の姿勢について、教皇は東日の目的は信徒の司牧のためと明言され、カトリック信徒に対して特別の関心を示されたことは勿論であるが、短期間の在日中色々の会合において、祭せられた講アペールはカトリック信徒に向つて、いと、いふよりも全人類に向つて、と考えられるものばかりである。一かも全人類に對して奉仕する姿勢に、つらぬかれて、これには、オニに感動的であった。

オニにマザーテレザの日本観について、マザーテレザは「日本は経済的に豊かであるが、精神的に貧しい国である」と云われた。これは現代日本に対する痛烈なる批判である。私は三十年前、社会福祉活動に携わつて来たが、その三十年を通じて最もよく考へさせられることは、日本人のエゴイズムであり、弱いもの、小さいものに奉仕する心の缺

婦人会だより

七月例会を七月十九日(日)に行い、オニ。

委員会報告

- 一、ヨシナカ野茂子様が千葉県の松戸教会へ移られた。婦人会より記念として、御像をさしあげられた。新任は、千葉県船橋市高野台一四一四。三、オルカンの件、色々意見がある。一、婦人会の意見として、まともな委員会の方へ提出しました。

八月の掃除のことについて

- 八月一日(土) オニグループ
 - 八月七日(金) オニ
 - 八月十五日(土) オニ
 - 八月廿三日(土) オニ
 - 八月三十一日(土) オニ
- 以上のようになりますので、お間違いないようにお願いします。
- 五、お願ひ、秋の婦人会の行事については、月例会で話し合ひを予定しておりますので、よろしくおねがい致します。(九月三日(日))

お知らせ

八月中旬、ミサが九時一回だけ、土曜日の四時のミサがあります。但し八月一日(土)は夏期学校終了日ですので、四時のミサはありません。

中和田教会だより

敬老会

主任司祭 宮下神父

本年は十月十八日(才三日)に教会の敬老会が催され、現在七十以上の方々が招待されます。教会の敬老会の一助は、十一月の初め、初まり会集者の皆さんのために、今までの神様のお恵み感謝の尚、天国へ行くための豊かなお恵みをお祈りいたします。その後、才二部として、七才やかな食料があり、七十以上の年齢になり、そろそろおむかへの来る頃になります。世間の人は、おむかへと云ふ言葉、死ぬと云ふ言葉を極度に嫌って、考へようとしません。人間はいつか死ななければなりません。教会の教へにより、人は死んでから天国

昭和五十六年九月二十三日
戸塚区中和田町三七〇
中和田教会広報委員会発行

か地獄へ行きます。天国へ行く準備をすることは最も大切なこととあります。準備なしに死んで行く者は、ほんとは、わいさうなあわれな者です。イエス Kristus は神の国に近づく、くいあうため、福音を信じなさいと仰せになり、ました。これは心を神様の方に向け、全身全霊をあげて、み教を信じ、信仰に生きなさいという心です。地上のつとめの終った人にとつて、残って居る才一の仕事は、天国へ行くために全力をあげて、神様につかえることとです。神様を懐ふこと、口ザリ、才や射撃、金、イエス Kristus 我等を憐れ給へ。聖マリアの信心のつとめ、祈り給へ。等々、永遠の生命への大きな準備となり、親族、他の者の上に神の恵みを呼び下すものとなり、ま

より遠足以外のことに決まりました。尚、最終決行は役員に一任させていただきます。又、この費用に就きましては、参加者の負担補助として、婦人会費より出費するものと、皆様より賛同を仰ぎました。
お知らせ
(一) 十月例会の変更(才三日)は、敬老会です。才四日(才五日)は、和泉地区(才六日)は、YWC A 文わりの会、十月二日、YWC A に於いて、キリスト信者の集いがあつた、詳細は会長におたづね下さい。締切は二十八日です。以上

お知らせ

一、壮年会より庭の整備
十月四日(日)九時のミサ後、教会表庭の整備を行います。大勢の御協力をお願いします。尚、草取り、道長の準備出来る方は、ご自参下さい。
ニ、マリアレプレゼントワザリ

オの行事報告

マリアレオの誕生日に才五回目のマリアレのプレゼント運動して、ロザリオの花束を捧げる行事が行なわれ、才四才の御協力により、四十名の方がお捧げ下さいました。
三、司祭の年の黙想会
十月十二日(才十七日)は、横濱教区邦人司祭の年の黙想会が行われ、神父、信者の上に聖霊のお恵みが豊かにあります。尚、お祈り下さい。以上
四、十月ロザリオの月です。
十月の日は、日御ミサ、前八時三十分からロザリオ、才一環を皆さんで唱えましょう。以上

才五回

一粒会作文コンクール
(応募規定)
作文のテーマ
●小学生の部
●中学生の部
●本校に在りての教員様
(4~5年生) ●マサチレサ

す。何卒、今までの信仰の生活が、大きく酬いられるように、毎日自分で自分の心を励まして、信仰の面でもよく生きるように、とめまします。以上

委員会報告 九月十一日開催

一、敬老会の件
十月十八日(才十一時)ミサより、中和田教会集會室にて、小原剛直を予定。
二、御聖堂天井修理の件
天井張替工事、松田塗装に依頼。近中に改修を行う。
三、オルガン購入の件
ヤマハエレクトン購入の件を検討中。

婦人会だより

冷たい雨の中、二十数名の方々が出席され、委員会報告には、いまり、向う三月月の行事に就いて話し合ひが行われ、主は十一月頃に親睦をかねて行われる遠足、又は音楽会、映画鑑賞、講演会、手芸講習、観劇会等々、沢山の意見が出され、多数の方の希望に

中学生の部

●教皇訪日と私
●マサチレサをとりまく
●インドの社会
●国際青年年にあたりて
●考えること

高校生

●教皇訪日と私
●マサチレサをとりまく
●インドの社会
●国際青年年にあたりて
●考えること

応募方法

小学生は400字原稿用紙、中学生は400字原稿用紙、高校生は400字原稿用紙、原稿には氏名(ふりがな)所属教会、学校名、学年、住所を忘れずに書いて下さい。

締め切り

9月30日
(提出先) 横濱教区一粒会作文コンクール委員会

十月先鳴者と侍者のお知らせ

先鳴者 侍者
10月4日 末原 聖母 石井
11日 山井 小本 吉田
18日 島田 川原 石井
25日 山井 川原 石井
11月1日 山井 川原 石井
8日 山井 川原 石井

中和田教会だより

昭和三十六年十月二十七日
戸塚区中和田町三〇一
中和田教会広報委員会発行

不可知の雲より

主任司祭 宮下神父

昔、英国の修道者の書いたものといわれる不可知の雲という本に神は愛さるべきものであり、神は愛によって獲得され、把握されず、か思惟によつて全く不可知です。神を体験したい神に近づきたいと思つたら愛の盲目運動を行いなさい。此れは神のみに心を向け、他の一切を忘れること、神以外のすべてを存在を忘れること、神はかりか自分の理性による知解機能という着物を脱ぎ捨てること、はじめて意志が裸になつて神に向ふのです。これを實行する場合は、一音節の一語を心の中に一つかり結びつけておきなさい。そして此の言葉をもち

つてあなたを心かいつつも神に向つて居るようにつとめなさい。これを実行してゆくと神の現存を知覚することが出る。原罪の悪の根が打砕かれる。出されず、但し良い結果が現われるまでには相当の時がかかります。頭を使ふ黙想や人間の考へることの出来るあらゆる苦業は、あまり役にたちませぬ。右のことは坐禅をやる者には非常に参考になると思ひます。不可知の愛には実行方法が書いてありませぬが坐禅で△と出す息に精神集中をする。無念無想の行と全く似て居る。坐禅の結果は両者とも全く同じように思われませぬ。信者が坐禅をやるに信仰が強められ心が浄化される等多くの恵みが豊かにあたらへられるといわ

れます。参考のために
以上
委員会報告 十月三日開催
一、エレクトロン購入の件
支那条件について確認。區名にて献金がありました二十万円を活用させて頂き、残り十二万円は六月の分割払込かとするに決定。
二、御聖堂の天井修復
集金室、食堂も行う。合わせを雨より箇所の修理も着行す。
三、敬老会の件
対象者二十三名 十月十八日開催
四、七五三の件
十一月十五日(且)九時三十分にて七五三のお祝いを行う。
五、クリスマス市民のついでについて
戸塚教会と共催にて飾りものを準備検討中。

●婦人会だより
今月の例会は十八日(敬老会)のお祝いの会があつたため二十五日に繰り延べされて行なわれました。

今月も多数の方が参加して下さいました。

委員会報告の後次の事項が話し合ひの上決められました。
一、宮下神父様と霊名の祝ひのお祝いを今年も婦人会として神々様のご希望の品をご用意することになりました。
二、映画鑑賞会の件
秋の恒例の婦人会行事は映画鑑賞会に決まりました。すで以前売券の手配の都合でみなさまのご希望をとりましたので、だいたいのことはお知らせしてあります。尚、左記により行います。尚、みなさんと楽しい一日を過ごし、映画の中で愛と平和について皆で考えてみましょう。
一、日時 十一月十二日(木)十一時三十分～十三時四十五分
二、場所 横浜高島屋六階
三、映画名 「アラシエビツ」
「愛の奇跡(神父の生涯)」
「生命、それは愛」
「マザーテレサ未日の記録」

(四)会費 五百円(入場料として) 但し交通費は各自負担。
(五)集合 午前十時三十分 戸塚駅改札口

尚、映画終了後一旦解散と致しますが、その後ご希望の方は十一月八日(且)までに教会に用紙を貼つておきますのでご希望の方はご記入下さい。
この度清尾史子様には九月十八日無事ご次男を出産されました。お名前はまだ、清尾真哉ちゃんです。神様の豊かな祝福がありますように。十一月の例会は十五日です。当番は下飯田下和泉地区です。以上
●お知らせ
一、布教献金について
十月十八日、布教の日、特別の祈りと献金をありがとうございました。献金は一七、七〇〇円でした。愛の献金と合わせ

せて四百円を送金致しました。
十一月十五日から二十三日迄、一週間の行事を終了。聖書による人生観を自分のものにし、その尺度で人と世界を見ることのできる、救いの福音を何とかして人々に伝える聖書の使徒になろうとの決意を立て、これを実行に移す機会になるように祈つてやみませぬ。
今迄より一層、聖書に親しむように致しましょう。十一月は死者の月です。親族縁者の御冥福のために御ミサを捧げましょう。
十一月先唱者と侍者
先唱者 侍者
小 萩原 石川 穂
七 小野 角本
八 武田(留) 小野 角本
九 小野 石川
十 小野 石川
十一 小野 石川
十二 小野 石川
十三 小野 石川
十四 小野 石川
十五 小野 石川
十六 小野 石川
十七 小野 石川
十八 小野 石川
十九 小野 石川
二十 小野 石川
以上

中和田教会だより

待降節の心構へ

主任司祭 宮下神父

イエズス様の御誕生日(クリスマス)をお迎へする準備の季節(待降節)が近づきました。今の日本ではクリスマスと云う言葉だけは多くの人が知って居りますが世間のクリスマスへの集いにはイエズス様が居りません。ほんとうはクリスマスをお祝いするのは皆さん信者の方々にしよう。クリスマスのお祝いの中心は御ミサの時です。クリスマスのお祝いの時心からイエズス様におめでとうと申すことと申上げることと出来るように心の準備をばじめましょう。マリヤ様からお生まれになった男の赤ちゃんは世界をつくり人間を造り人

昭和五十六年十一月十九日
戸塚区中田町三〇一
中和田教会広報委員発行

々を故い神の子として生き永遠の生命に入る道を開いて下さったまことの人まことの神様です。馬小屋の中で生れ布につつまれカイバ桶のワラの上におかされて居たとき聖書に書いてあります。天の王座を捨てて地上に降り、かま人間として最底の状態から身を起されたお方です。此の赤ちやんが神様であり救い主であるという事は信仰によつてだけ受入れることが出来ます。私達の信仰が強められるように特別に口ザリオによつてお恵みをお願い致します。司祭のマリア運動の指導者イタリアのステファノ、ゴッビという司祭は九年前から聖マリア様の信仰的伝言を受けて居ります。此の伝言の中にマリア様は私に信者の中に帰り度いあなた方司祭は信者を動かし

委員会報告

十一月六日(金)開催

一、教会建屋修理費について会計報告あり、工費六七四、〇〇円。

二、クリスマスとミサとパーティー

十二月二十四日(木)午後七時三十分より子供達の聖歌及びキヤンドル・サーピスから開始、御ミサ後持参りパーティーを

祝フランシスコサベリオ

宮下神父様の御霊名の祝日
十二月六日(日)九時ミサにてお祝いをいたします

婦人会だより

十一月例会は十五日(日)に二十名の方の出席で行なわれました。委員会報告の後、先日の映画鑑賞会についての報告がありました。映画を鑑賞された方は三十八名に及び、お言葉を生きたるフルベ神父とマサ・テレサの姿に一同深い感銘を受けました。当日は賑やかにおだやかな日で映画の後みんなで昼食を一緒にして解散致しました。

お知らせとお願い

- クリスマス・キヤンドルサーピスには多数ご参加下さい。ローソクは委員の方に婦人会から出すことになりました。
- 十二月十二日(土)十時より年末の大掃除を致します。ご協力をお願い致します。
- カトリック婦人同志会の講演会があります。
- 日時 十一月二十六日(木)午後一時三十分より
- 場所 片瀬カトリック教会、信徒会館。

講師 聖テレシア病院付司祭

テーマ 「話している教会と沈黙の教会」

尚例会のありました日の九時のミサに於て、花坂様山下様中島様のお子様方が七五三の祝福を受けられました。又鈴木ナミ様には十一月一日長崎のご実家で男児を出産になりました。この子どもも健康が豊かなお恵みの中に健やかに成長されますようお祈り致します。

十二月例会は二十日(日)です。当番は上飯田、いちろう団地地区です。

十二月のミサ

- 十二月三日(木) 聖フランシスコ・サベリオ祝日
- 十二月六日(日) 却人司祭育成の日
- 十二月十日(木) 黙想会
- 十二月二十日(日) クリスマス・ミサ
- 十二月二十七日(日) 聖家祝の主日

待降節の黙想会

(待降節才三主日)

日時 十二月十三日(日)

九時ミサより正午迄

指導司祭

アレンジのフランシスコ熊木

建部神父様

クリスマス・ミサ聖祭

十二月二十四日(木) 午後八時

午後七時三十分より小学生の小供達と全員でキヤンドルサーピスを行います。

(十二月二十日(金)の御ミサは午前九時のみです)

中和田教会だより

昭和五十六年十二月二十三日
戸塚区中田町三七〇一
中和田教会広報委員発行

神の母聖マリア

主任司祭 宮下神父

年の始め一月一日は神の母聖マリアの祝日と定められ全世界のカトリック教会の祭壇で平和のためのミサが献げられます。中和田教会は神の母聖マリアに献げられたので此の教会に属する我等の祝日でもあります。

マリア様が私たちの母であることは主イエズス様が十字架の上で息を引き取る少し前に教へて下さいました。主は十字架の許に居られた御母に向って信者を代表するヨハネを指して此れはあなたの子であると云われヨハネに向ってマリア様を指して此れはあなた之母であると云われたみ言葉によつてわかります。またイ

エズス様の恵によつて神の命をいただいたすべての信者だけでなくすべての人がマリア様の子供ですと云うのはマテオ二十五章にある審判のたとへの際に述べられた人達に向つて主はあなたかたが此の世でかいさうな人悲しんで居る人困つて居る人にしてくれたいと直ちに私(イエズス)にしてくれたいのと同じである」と云ふ主のみ言葉をみますとすべての人(イエズス様)でありマリア様の子供です。マリア様がイエズス様の赤ちゃんの時から活動の時(イエズス様のお世話を)して下さったように今マリア様は私達を見守つて導いてくださいます。信頼をもつてマリア様に援けをお願ひなごらつとめましよう。人々の中には人を救ふのは主イエズス

様だけなのにマリア様の方に心を向けたらイエズス様を捨てたようになるかと考へる者がありまが此れは間違です。

モンフォールの聖ルドヴィック・リニオン(十七世紀の人)で最近聖人の位にあげられた聖人の教によりオサと三位一体の神様とイエズス様とマリア様は列んで居るのでなく全に列んで居ると云ふより全に一つになつて居ると考へられる。そして私たちがマリア様に何か申上げるとマリア様はすぐイエズス様の氣に入らる。ですからマリア様に申上げることについてイエズス様がききいれて下さりお恵を与へて下さるのでマリア様はそのお恵を私達に与へて下さるとあります。

天主の御母であり私達の母であるマリア様に厚い信心を頼りもつて祈りおつかえし信者キリストの救の道をおかしくする者として生きるようにつとめましよう。

以上

委員会報告

十二月十一日(金)開催

- 一 信使紙の件
開催予定日(一月三十一日)は一月八日(金)委員会(一月二十一日)臨時委員会にて総会準備。
- 二 役員改選について
次期改選役員について検討
- 三 壮年会報告
十一月二十九日(日)例会を開く。クリスマス時の準備(プレゼント用意)

婦人会だより

今年度最後の例会は十二月二十日(土)出席の多しに行なわれまし。

最初に神父様より役員一同への一年間の働きに謝するねぎらいのお言葉があった後、来年度の新しい役員が左の通り紹介されました。

会長 セシリア阿部寿恵

副会長 マリアテサ大宮御子
書記 モニカ岩崎好愛
会計 エリサベト横塚郁子
顧問 エリサベト位田祐子
典礼 アンナレリア丸田綾子
典礼 パルペチア石井悠子

来年度も今年同様役員を軸に心を合わせてよりよい共同体づくりのために協力致しますよう。

尚次の事が話し合われました。

- ・クリスマスパーティーのたのめ汁作りを二十三日午後一時から行います。
- ・神父様 佐藤様へ例年通り婦人会からクリスマスプレゼントをさしあげます。
- ・新年会を一月二十四日(日)午後六時(詳細は後日)
- ・新年会を一月二十四日(日)午後六時(詳細は後日)
- ・新年会を一月二十四日(日)午後六時(詳細は後日)

先日申し込んでいただきました聖骸布の写真が出来て

いす。お受取り下さい。(一救五十円)

- ・みなさまのお宅で不用の中皿(皿)コーヒータ碗の受皿(大まき)がございましたら寄付して下さい。(カンボール箱を用意してあります)

来年度の掃除当番表を貼り出してありますので手伝つていただけると幸いです。希望欄に記名して下さい。来年度は四月五日(日)の午後二時からとします。午後二時から協力いただけるという方は、この表に記入して下さい。

・地区別表、連絡網については現行のものを基本とします。今までの経緯上不都合のある方はお申し出になつて下さい。

最後に今年一年の活動が豊かであったのうちに終了した事に感謝し、来年度もよりよき働きがありますよう願つて、みなで主の祈りと天使祝詞をお捧げして終わりました。

お知らせ
一月一日のごミサは午前十時です。